

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年2月25日(2025.2.25)

【公開番号】特開2022-153282(P2022-153282A)

【公開日】令和4年10月12日(2022.10.12)

【年通号数】公開公報(特許)2022-187

【出願番号】特願2022-27462(P2022-27462)

【国際特許分類】

C 0 8 L 6 3 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 G 5 9 / 2 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 3 2 B 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 3 2 B 2 7 / 3 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 J 5 / 2 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 L 6 3 / 0 0 C

C 0 8 G 5 9 / 2 0

B 3 2 B 5 / 0 0 A

B 3 2 B 2 7 / 3 8

C 0 8 J 5 / 2 4 C F C

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構成要素 [ A ] ~ [ F ] を、全エポキシ樹脂 1 0 0 質量部に対してそれぞれ下記の量含む、エポキシ樹脂組成物。

[ A ] 非芳香族エポキシ樹脂 9 0 ~ 1 0 0 質量部

[ B ] 平均粒径 0 . 1 ~ 1 0 μ m の顔料 0 . 0 5 ~ 7 5 質量部

[ C ] 非芳香族熱可塑性樹脂 0 . 0 5 ~ 1 0 0 質量部

[ D ] 非芳香族酸無水物 5 0 ~ 2 0 0 質量部

[ E ] 硬化促進剤 0 . 1 ~ 1 0 質量部

[ F ] チキソトロピー性付与剤 0 . 1 ~ 2 0 質量部

【請求項2】

全エポキシ樹脂 1 0 0 質量部に対して [ C ] 非芳香族熱可塑性樹脂を 0 . 0 5 ~ 3 0 質量部含む、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

30

40

【請求項3】

7 0 における粘度が 0 . 0 1 ~ 3 0 P a ・ s である、請求項1または2に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項4】

全エポキシ樹脂 1 0 0 質量部に対して [ C ] 非芳香族熱可塑性樹脂を 3 0 ~ 1 0 0 質量部含む、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項5】

7 0 における粘度が 3 0 ~ 5 0 0 P a ・ s である、請求項1または4に記載のエポキシ樹脂組成物。

50

## 【請求項 6】

非芳香族化合物が全エポキシ樹脂に対して 90 質量%以上含まれる、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 7】

エポキシ樹脂組成物がさらに構成要素 [ G ] ゴムを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 8】

エポキシ樹脂組成物が構成要素 [ A ] 非芳香族エポキシ樹脂を少なくとも 2 種類含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 9】

構成要素 [ C ] 非芳香族熱可塑性樹脂がポリビニルアルコール、ポリビニルホルマール、ポリビニルブチラール、ポリビニルアセトアセタールおよびポリ酢酸ビニルからなる群から選ばれる少なくとも一つである、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

10

## 【請求項 10】

DSC 発熱ピーク温度が 80 ~ 120 である、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 11】

180 1 時間環境下においた後の揮発量が 10 % 以下である、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

20

## 【請求項 12】

エポキシ樹脂組成物の硬化物に対し波長 300 ~ 400 nm の紫外線を 1000 kJ / m<sup>2</sup> 照射した後の式差 E \* a b の値が 4 以下である、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 13】

繊維強化複合材料前駆体の表面に塗布し、または貼り付け、共に熱硬化する用途に用いる、請求項 1 に記載のエポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物が強化繊維と一体化してなる、表面保護中間基材。

30

## 【請求項 15】

金属メッシュまたは金属フォイルの表面に請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物が一体化してなる、表面保護中間基材。

## 【請求項 16】

前記エポキシ樹脂組成物の、金属メッシュまたは金属フォイルが一体化した面とは反対側の面に、不織布または織物が一体化してなる、請求項 15 に記載の表面保護中間基材。

## 【請求項 17】

請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物が繊維強化複合材料前駆体の表面に塗布されてなるか、または請求項 14 ~ 16 のいずれかに記載の表面保護中間基材が繊維強化複合材料前駆体の表面に配されてなる、繊維強化複合材料中間体。

40